

第14回 土木施工管理 技術論文・技術報告 募集

(社)全国土木施工管理技士会連合会(JCM)(協賛:(財)日本建設情報総合センター(JACIC))は、技術論文・報告を募集します。優秀な論文・報告に対しては、最優秀論文賞等の賞を設け表彰します。

応募要領

1. **募集対象者:** 土木施工管理技士(1級または、2級有資格者)で個人または連名(共同執筆者は2名まで)
 2. **対象工事と内容:** 工事規模の大小・工種の制限はありません。過去に他団体に応募した論文及び報告は応募できません。
 3. **原稿形式:** 論文と報告の2分野があります。
 - (1)論文・報告共通
 - 1) 内容 : 工事現場での課題・問題とその解決、現場における簡単な創意工夫、ITやマネジメントによる現場の改善、技術の伝承、社会への貢献などで他の施工管理技士の参考になるもの。
 - 2) 項目 : 論文・報告の構成は、原則以下の①～④にしてください。
①はじめに(適用工種 工事概要を含む) ②現場における課題・問題点 ③対応策・工夫・改善点(特に個人として実行したこと)と適用結果 ④おわりに(他の現場への適用条件、今後の留意点など)
 - 3) **写真・図表 :** 写真・図表には、タイトルと図表番号を必ず付けてください。写真・図表のない論文・報告は受理できません。
 - 4) 様式 : 原稿の Word 様式は本会ホームページ(www.ejcm.or.jp)の技術論文サイトに掲載しますので、投稿にはこれをご使用下さい。なお原稿は20MB以内とします。参考までに前年の最優秀論文および優秀技術報告も掲載しています。
 - (2)技術論文 題名・字数 : 題名は具体的に必ずつけて下さい。原則図表を含む1,500字/頁程度【A4:4頁】とし、写真・図表は説明に必要なもののみとし、各頁の半分以下とする。またA4で5頁以上は不可とする。
 - (3)技術報告 題名・字数 : 題名は具体的に必ずつけて下さい。原則図表を含む1,500字程度【A4で2頁】とし、1,500字程度(1頁)未満もしくは説明に必要な写真・図表のないものや、説明文のないものは不可とする。
4. **応募**
 - (1)方法 : 応募はインターネット応募もしくは用紙による応募があります。応募頂いた技術論文・技術報告とも原稿の返却はおこないません。
 - 1) インターネット応募は連合会のホームページからでき、申請直後に受付メールを送付します。非技士会員の方は、インターネット応募のみ受け付けます。
 - 2) 所定の用紙による応募は、各都道府県等土木施工管理技士会事務局のみで受け付けます。
 - (2)締め切り : 平成22年1月8日(金)着厳守 各都道府県等土木施工管理技士会事務局
平成22年1月13日(水)着厳守 (社)全国土木施工管理技士会連合会
 - (3)制限 : 応募は1件/人、共同執筆者は2名まで、技術論文と技術報告の重複応募は不可とします。主執筆者と共同執筆者の重複応募も不可とします。会社単位では、論文、報告で1社各5件までとします。
 - (4)応募料金 : 技士会会員の方は、無料です。非会員の方は、技術論文・技術報告とも料金2,000円を下記口座に振込み、振込み記録(送金票控え)を受付通知メールと一緒に当連合会宛にFAXしてください。FAX番号 03-3262-7420
 - (5)振込先 : 口座名義 JCM 銀行口座: りそな銀行 市ヶ谷支店(普通)1112461
 - (6)論文の受理: 内容が一定水準以上で原稿形式が応募要領を満たしているものだけを受理します。不受理の論文及び報告にはCPDSユニットは付与されません。受理の判定結果についてはホームページにてお知らせします(平成22年2月末頃)。

6. 表彰

表彰は連合会の審査委員会で審査し下表の優秀論文等を選定します。応募論文総数により表彰数が異なることがあります。ユニットの付与は、5月末頃になります。「賞の種類」が重複した場合は、CPDS学習単位の高い方のユニットが付与され、重複加算はいたしません。発表は本会のホームページ・会誌 JCM マンスリーレポートに掲載します。最優秀論文賞の方には表彰式で、簡単な発表をお願いすることがあります。

下表のユニット数は主執筆者、()内ユニットは共同執筆者を表しており、各賞のユニット数は、受理ユニットを含んでいます。

分類	賞の種類	表彰賞金等	ユニット	備考
技術論文	最優秀論文賞	10万円 1名 (増岡康治記念会基金より)	30(6)	ITマネジメントも含め、最も優秀な論文
	ITマネジメント賞	7万円 1名 (財)日本建設情報総合センター	30(6)	IT(情報技術)を利用して工事(改築・改修・新設・維持等)の工期短縮、施工合理化、品質向上、安全性向上、環境保全等に役立てた内容の優秀な技術論文
	優秀論文賞	2万円 3～4名程度	20(4)	ITマネジメントも含め、優秀な論文
	社会貢献賞	2万円 1名	20(4)	社会に対する貢献度等を評価します。
	受理技術論文	入賞選外の受理技術論文	15(3)	主執筆者は15ユニット、共同執筆者は3ユニット付与
技術報告	優秀報告賞	1万円 5～10名程度	15(3)	現場における工夫例を記述します。
	受理技術報告	入賞選外の受理技術報告	10(2)	主執筆者は10ユニット、共同執筆者は2ユニット付与